

★7月の休館日：1日(月)、8日(月)、9日(火)、16日(火)、22日(月)、29日(月)



プラネタリウム番組のご案内

7月の一般投影 夏の星雲・星団めぐり

山の上など都会から離れた人工の光の少ない場所で夜空を見上げると、とてもたくさんの星が見えます。星空を双眼鏡や天体望遠鏡で観察すると、視野の中に、「星雲」や「星団」を見つけることができます。

「星雲」は、雲のような薄ーとした淡い光です。星雲には、「散光星雲」「惑星状星雲」「超新星残骸」などがあります。散光星雲は、宇宙を漂うガスが恒星の光を受けて光ります(いて座の干潟星雲M8、三裂星雲M20など)。惑星状星雲は、太陽程度の質量の恒星の最期の姿です(こと座のリング星雲M57など)。超新星残骸は、大質量星の最期におこる超新星爆発の残りです(はくちょう座の網状星雲など)。

「星団」は星の集まりです。星団には「球状星団」と「散開星団」があります。「球状星団」は、十万～数十万の恒星が密集し、球状に集まった天体です(ヘルクレス座のM13など)。「散開星団」は、数百ほどの恒星が集まっている天体です(さそり座のちょうちょ星団M6など)。

このほか、天体望遠鏡では、銀河という星の大集団も観察できます(アンドロメダ座のM31など)。天の川は、私たちの銀河系を内側から見た姿です。天の川沿いには、多くの星雲や星団があります。

今月は、夏の星雲・星団をご紹介します。星空の向こう側に広がる宇宙をのぞいてみましょう。



M57・リング星雲 (C)Mitsunori Tsumura



M13 (C)Mitsunori Tsumura

夏の空にある
星雲・星団の
位置はこちら
↓



夏の星図

キッズ プラネタリウム

★幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。
土・日・祝および夏休み(7/20～9/1)
11:10～14:30～

こども天文教室

★小学4年生以上を対象に、テーマごとの天文の話題を少し詳しく解説するプラネタリウムです。どなたでもご参加いただけます。

★7/20(土)★9:50～

テーマ：天の川と流れ星の観察

たなばたアワー

★～7/7(日)★ ※平日の9:50～か11:10～に団体予約がある場合、たなばたアワーの投影があります。

ほしぞらんかんさつをしよう

★7/13(土)～9/1(日)★

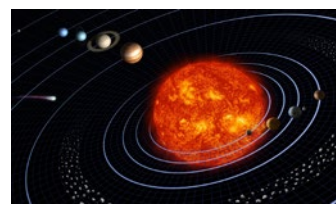
軌道星隊シゴセンジャー (夏場所)

★7/13(土)～15(月・祝)★11:10～ ※事前申込制

8月の一般投影

太陽系グランドツアー

太陽系は今から約46億年前に誕生しました。太陽系には、明るく光り輝く太陽の他、太陽の周りをまわる8個の惑星や衛星、小惑星など多くの天体があります。今回は地球を飛び出し、太陽系をめぐる旅です。



©NASA

特別展のご案内

～7/15(月・祝)

ときあかせ！辰鼓楼 機械時計の謎

豊岡市出石町にある時計台「辰鼓楼」の初号機と2号機の機械部分を特別展示。辰鼓楼と機械時計の歴史に迫ります。

7/20(土)～9/8(日)

プラネタリウム博覧会～世界のプラネタリウム大集合！～

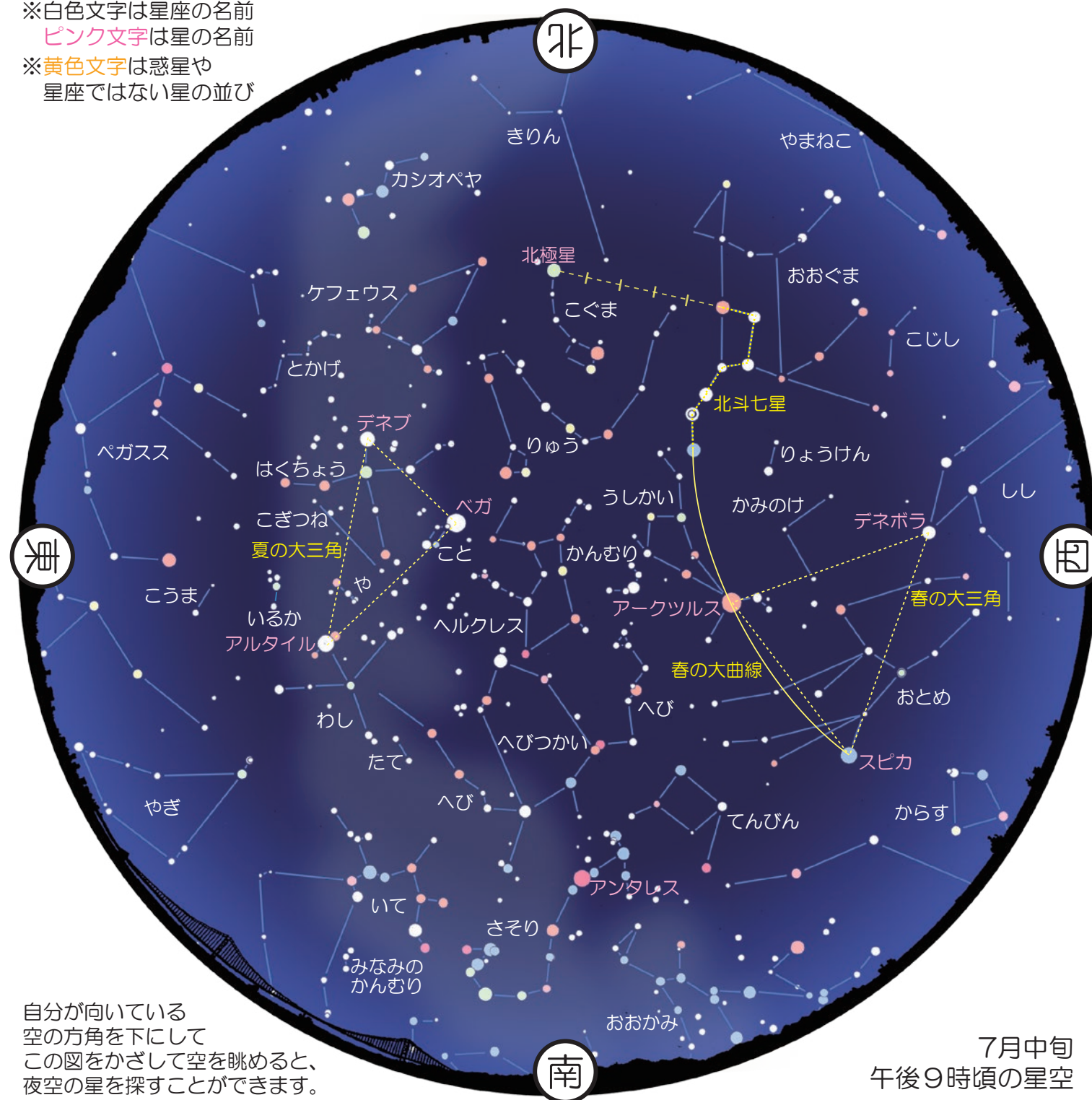
あなたの知らないプラネタリウムが大集合！世界のプラネタリウム、学校に設置された小型プラネタリウム、天文時計など、プラネタリウムに関係する珍しい資料を展示します。



時と宇宙の博物館

明石市立天文科学館

※白色文字は星座の名前
ピンク文字は星の名前
※黄色文字は惑星や
星座ではない星の並び



自分が向いている空の方角を下にしてこの図をかざして空を眺めると、夜空の星を探ることができます。

7月中旬
午後9時頃の星空

7月の月の暦

6日 ● 朔(新月)
14日 ● 上弦
21日 ● 望(満月)
28日 ● 下弦

7月の日の出・入(明石)

日	日の出	日の入
1日	4:51	19:17
15日	4:58	19:14
30日	5:09	19:04

7月の天文現象

2日 月と火星が並び(明け方)
3日 月と木星が並び(明け方)
6日 小暑
22日 大暑
22日 水星が東方最大離角
24日 月と土星が並び
31日 月と火星・木星が並び(明け方)
31日 みずがめ座δ(デルタ)南流星群が極大

8月の天文現象

6日 月と金星が並び
7日 立秋
10日 旧暦七夕
12日 ペルセウス座流星群が極大
14日 火星と木星が並び
20日 月と土星が並び
21日 月と土星が並び
22日 処暑
27日 月と火星・木星が並び